



室戸は  
人間らしい  
暮らしができるとこ。  
お金をかけずに  
遊べるところ。

父(右)・正悟は長州の出身。1973年から室戸びとだ。

「知りたい」がすべての原動力」と語る無類の勉強好きが、室戸で海洋深層水と出会った。さっそく、海のミネラルをバランスよく含んだからだにやさしい塩を求めて、天然天日塩を試作する。釣った魚を海洋深層水を使って干物にしてみる。そしてその無限の可能性を確信し、以来、自ら工夫を重ねた実験を続けている。

「海のことはぜんぶ知りたいきね」と早朝から漁船を操り、海洋写真を撮り、魚の学名や地方名を調べ上げ、お魚博士の異名を取る。

が、本業は肉屋である。「(肉屋の商売で)城を確立しなくては、好きなこともできん」と、日中はお肉博士に変身だ。

息子(左)・泰正は「にくや牛正」の2代目として、父とともに目利きした肉の小売りと卸しに勤しむ。

そのまた息子は、祖父と父を見て育ち、「お肉屋やりたいな」「お魚屋もいいかな」と目下迷い中。素直な少年にちがいない。

泰正は室戸市商工会の理事も務め、昨年に続き今年も「室戸ジオパークトライアスロン」事業にも尽力。ひとりでも多くのひとに室戸に来て好きになってもらうために、仲間と奔走する。

父子が語る室戸の魅力は、「知っちゅうひとに魚をあげると野菜がかえってくる」と「ひとがえい(良い)」。

そう口をそろえるふたりも、確かに「えい」笑顔。

にくや牛正  
釧物正悟・泰正

# 室戸びと、 進む。